

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子育てサポート・ふれ愛 大和西大寺南校 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和6年12月23日		令和7年1月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもは安心感を持って楽しみながら通所して頂いており、保護者の方にも事業所の支援に満足していただいている。	自分の意思を表現する機会を多く持つことや、自分の役割を持ち自主的に行動する活動を多く取り入れることで、子ども自身が達成感を感じて自信がついていくように、活動プログラムを立案している。 曜日を決めて通所するクラス制を取り入れることで、子ども同士や担当職員と信頼関係を築きやすく、苦手なことにも安心して向き合うことが出来る環境を整えている。	多職種での連携を強化して分析を行い、お子様ひとりひとりに合わせた支援を行うことでより安心感を持ち楽しく活動できるように取り組む。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解できており、事業所の職員から共感的に支援をされていると感じていただいている。	送迎サービスを行っていない分、保護者の方と顔を合わせて日常のコミュニケーションが取れるよう心掛けている。 相談に対しては迅速に対応できるよう職員間の情報共有を行っている。 支援の資質向上のため、社内研修を行っている。	専門的な支援に関しても、より多くの職員が対応できるよう、研修等のより一層の充実を図る。
3	放課後等デイサービス支援計画は子どもの特性を理解した上で作成され、十分な説明を受け、支援計画に沿った支援が行われていると感じていただいている。	子どもの特性に合わせて支援内容を検討できるよう、事業所内のモニタリングの機会を設けている。 面談の機会を十分に取、ニーズの確認を丁寧に行っている。	PDCAサイクルの推進により業務改善に取り組み、より一層モニタリングの内容を充実できるように取り組む。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースにもう少し余裕がある方が望ましい。	法令に遵守したスペースの確保をしているが、多くの方に通所を希望していただき以前と比較して各クラスの利用人数が増えたため。	今後も活動人数や出席人数に応じて、活動部屋を分けたり野外活動を取り入れて工夫する。
2	事業所の設備は建物の都合上、バリアフリー化は難しいところがあり、生活空間は子どもにわかりやすく完全に構造化されていると感じられないところがある。	・事業所の建物にはエレベーターがなく階段のみであるため。 ・相談室はクールダウンするための部屋と兼用になっており、また、倉庫・別教室はアコーディオンカーテンで仕切られており、完全に構造化されているとは言い難いため。	・生活空間は掲示物や準備物などの刺激となる物の整理を行い、集中できる環境を整えていく。 ・建物の構造や間取りを変更することはすぐには難しいが、活動範囲は視覚支援を使用し子どもにわかりやすく表示し、年度初めと必要に応じて、生活空間の使用の仕方を子どもたちに伝えていく。また、契約時にもご理解頂けるように丁寧に伝える。
3	個人情報の取り扱いについて十分留意されていることを、保護者の方の周知しきれていない。	個人情報の取り扱いについてはご契約時にご説明させていただいているが、その後はご説明する機会があまりなく、事業所としては十分注意をして取り扱っているが保護者の方に十分周知できていなかったため。	・引き続き個人情報については十分注意して取り扱っていく。 ・契約時だけでなく必要に応じて個人情報の取り扱いについて丁寧に説明をしていく。